



電気自動車貸与式にて

動く場合に事故等が心配される。督促・徴収方法はどのようにしているか。

答 月末に各地区の担当者で電話催告し、乗らない軽自動車については、廃車を勧めている。また、年3回の夜間滞納整理および全庁一斉滞納整理も行っている。その際にも話をし

ているが、車検切れについては把握できな

【歳出】

問 職員研修福利厚生の人間ドックについて、下仁田厚生病院で受診している職員は何人いるか。

答 3名から5名で例年推移している。以前も

指摘があったが、各病院に長年かかっているデータが蓄積され

問 地域おこし協力隊募集事業のアドバイザーの仕事内容は。

答 地域おこし協力隊としての経験者をアドバイザーとして招き、町で活躍する隊員の起業、就職、定住に対するアドバイスや支援をしてもらいたいと考えている。

問 ふるさと納税促進の5308万円の内訳は。

答 返礼品の費用として4000万円、ふるさと納税に係る封筒の印刷代等の費用が38万円、クレジットカード取扱手数料、ゆうちよ銀行手数料、寄付証明書郵送料、ワンストップ特例申請書の郵送代費用が190万、納税募集サイトの運営費用が1080万円となっている。

問 4000万円分は商店や農家に支払われ

るか。多少のばらつきはあるが業者への支払いになる。

問 28年度の返礼品のメニューはどのように考えているか。

答 今年度取り扱ったものの他に、下仁田町に来てお金を使った部分で模索している。新たな返礼品の募集も行っている。

問 すき焼き県として群馬県がPRしているが、今年度すき焼きが品薄となってしまう、来年度は何か対策は考えているか。

答 供給できるよう業者と協議したい。

問 企画費のまちづくり推進費782万円の内容は。

答 大きいものは定住促進奨励金で、1件25万円交付するもので325万円。その他、町並みを生かしての起業支援として空き家利用の起業家に対し100万円を限度に補助金を交付する事業、二地域居住として、平日

は都会で生活し週末に下仁田町で過ごすといったスタイルを推進し、空き家を利用しての改修費用補助100万円も見込んでいます。

問 本年度、肺がん検診を新たに導入するのは。

答 県内未実施の市町村は5自治体。内容は、従来の胸部レントゲンに加え50歳以上でタバコ指数600以上の人に任意で喀痰検査を行う。

問 乳幼児対策で新しくなる不妊治療費助成と今までの実績は。

答 不妊治療と不育治療について助成を行う。特定不妊治療は個人負担の2分の1で上限100万円、一般不妊治療は、個人負担の2分の1で上限20万円、不育治療は個人負担の

2分の1で上限20万円と増額した。平成16年度から助成事業を開始して、毎年1〜3件の申請を受け付けている。そのうち半数以上が妊娠に結びついている。

問 年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業について。

答 平成27年度の臨時福祉給付金の対象者で28年度中（昭和27年4月1日以前に生まれた人）65歳以上になる方が対象となる。

問 入学祝金について。

答 平成28年度から開始される事業で小・中学校に入学する対象者の保護者に支給する。

問 この事業を始めた目的は。

答 子育て応援事業の一つで、結婚・出産・子育て（保育園の保育料無料化拡大）・小・中学校への入学時の義務教育まで、切れ目のない支援をするため。